```
(A)
Z/mz か一体になる → m的素数, 走元寸。
2/加力の完全代表系もで、丁,…、加一とする.
(=)
であるめる
    \overline{D} = \overline{A} - \overline{b}
 及に近元でかるるとすると及・で=アとなる。
 D12 C & 16A 73 2.
 \overline{0} = \overline{0} \cdot \overline{\lambda} \cdot \overline{\lambda} = \overline{b}
 とはまり、一九はしきらこれ一にしる着する。
(\Leftarrow)
Mは素酸であるとする。 なものであるすべてのなモグ加2(=ケナし.
変元がなたすることを示せばよい。
今 Q-0, Q-1, ---, Q-(m-1) というかつの女を表える。
ニマラの教をいでわった余りは全て異なる…②ことをテす。
  Z/ Di, I S.t. 0 Sisjsm-1 Al ai = ai mod m Eti3
  1, 注的"存在有3至有3至,
  û(j-i) = 0 (mod m) &t } 30 0 ≤ j-i ≤ m-1 2 ti/.
  gcd(a,m)=1 (··mは素数) だめら、i-v=0。:、i=1
よって、回は真であり、 Q·O, --・, Q·(m-1)の中に Mで鳴り、た
余りかいしてあるものかな在する。これをの、ことすると
\overline{\alpha} \cdot \overline{c} = \overline{1}
```